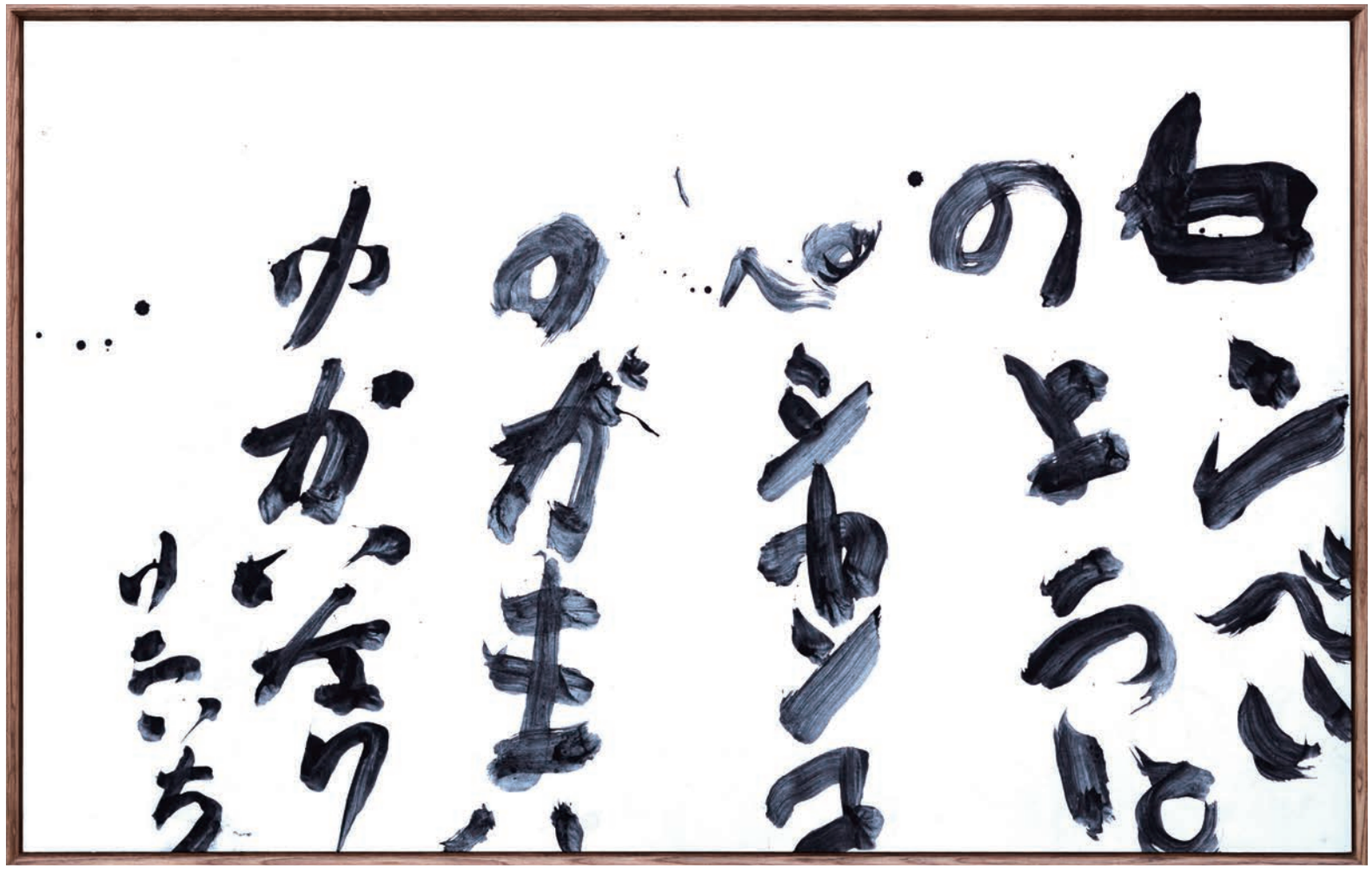
井上有一の書

2019年
6月8日.土 — 6月16日.日
定休日 12日／OPEN 11:00—18:00



うつわ 菜の花

小田原市南町1-3-12 電話0465-24-7020
小田原駅東口より箱根方面へ向かうバス利用［箱根口］バス停下車徒歩3分
次回企画展〈大平新五と古陶器 6月22日～6月30日〉

● 井上有一は、何回企画してもおもしろい。本質があるからなのですが、どこからひっぱり出しても、人の心に痛いものを残していく。こんな人がいたんですね。
おもしろいと言いましたが、その中には、いやなものがないんです。

井上有一が戦争中、国民学校の代用教員をやっていた頃、生徒の一人にいかりや長介がいた。後にテレビで長介がよく人をなぐる姿を、自分がモデルだったと認めて、テレビを恥ずかしがって見なかったと聞いたことがあります。井上有一は、長介にクラスの演劇会の監督をさせていたんですね。どうもいかりや長介を認めていたんだろうなと思います。それが世に出てくる由です。このことも井上有一にとってはおもしろいことだし、自分には大切なことだと思った。

「くびがもげました　もげたらもげたでいいじゃないか」と書いたものがある。文字を書いていて、筆の首がもげてしまって、大きな字でそのことを書いていったものなのです。見た時おもしろいと思ったのに、手を出そうとしてやめてしまった自分がいた。その後欲しくなったらもう無いという。何枚も残していったと言うのに無いのですね。

今回、数も少なくて「うつわ菜の花」での展示に変わったのでごめんなさい。
でもじっくり見て下さい。そして手に入れてください。後から欲しくなっても、もう無いということもあるかもしれませんよ。

2019年5月25日 店主●たかはしたいいち。

●井上有一の書

●会場は、うつわ・菜の花に変更になりました。

2019年
6月8日.土 ― 6月16日.日

定休日 12日／OPEN 11:00―18:00

■ 井上有一プロフィール

1916　東京下谷ニ長町生まれ。
1935　青山師範学校を経て東京市本所区横川尋常小学校訓導勤務。
1941　上田桑鳩に師事 (51年迄)
1950　第三回書道芸術院展初出品「自我偈」で書家デビュー。
1951　神奈川県の辻堂に住む長谷川三郎を識り、芸術の本質を糺すため日参する(当時井上有一は隣町の茅ヶ崎に住んでいた)。
1952　森田子龍、書芸術雑誌『墨美』創刊。
1957　墨人会を結成、機関誌『墨人』編集を担当 (50号迄)
　　サンパウロ・ビエンナーレ展　日本代表として手島右卿と共に出品、「愚徹」がハーバート・リードに注目される。
1959　カスパー・ケーニッヒの推薦によりドクメンタ(カッセル)出品。ハーバート・リード『近代絵画史』に「愚徹」を掲載
1971　美術批評家海上雅臣と出会い最初の作品集『花の書帖』刊。
　　初の個展開催(壱番館画廊/銀座)、以後没年に至るまで個展を15回開催。
1976　8月31日を以て神奈川県寒川町立旭小学校長を最後に、41年間の教員生活を終える。
1985　肝不全で没、69歳。

1986　没後、有一の遺業を讃える文化人13氏により「生きている井上有一の会」結成。
　　京都国立近代美術館に代表作62点を収蔵。
1989　京都国立近代美術館にて回顧展「大きな井上有一展」公開。(以後巡回:埼玉、新潟、山口、福岡、愛媛、郡山の各地公立美術館)
1993　「井上有一すばらしい貧展」全64点公開(麻布美術工芸館/東京)
1994　「1945年以後の日本美術　空に向かって叫ぶ」
　　(グッゲンハイム・ソーホー/ニューヨーク)に「噫横川国民学校」「無我」出品。
1995　有一回顧展(クンストハレ・バーゼル/スイス)。「井上有一〈東京大空襲〉展」(すみだリバーサイドギャラリー/東京)。
　　『『井上有一書法』刊行記念　井上有一展」(天津人民美術出版社ギャラリー/天津)
　　カスパー・ケーニッヒによりフランクフルト3美術館にて有一展同時開催。
　　「井上有一、貧展」(シルン・クンストハレ/フランクフルト)
　　「井上有一、東京大空襲展」(カルメリータ・クロスター/フランクフルト)
　　「井上有一、経済成長展」(工芸美術館/フランクフルト)
1998　国際美術評論家連盟東京総会にあわせ「すばらしい貧展」特陳(すみだリバーサイドホール/東京)。
1999　「井上有一　書は万人の芸術だ」(芸術の殿堂書芸館/ソウル)
2000　「生きた書いた井上有一展」(茅ヶ崎市美術館)、「井上有一〈鳥〉展」(チャンピーノ市立現代美術ギャラリー/ローマ)
　　カタログ・レゾネ完結記念井上有一研究国際シンポジウム開催(京都・東京)
2004　「戦争と美術展」(群馬県立近代美術館)。杭州国際書法芸術祭「井上有一展」開催(中国美術学院/杭州)。
　　「井上有一/ギュンター・ユッカー二人展」(ランゲン財団美術館/ドイツ)
2008　「井上有一展」(十方芸術館/鄭州)
　　「井上有一自画像+書業」(梅野記念絵画館/長野)「日々絶筆行　井上有一書法作品展(今日美術館/北京)
2009　「海上雅臣が推す戦後美術の三人展〈棟方志功　井上有一　八木一夫〉」(梅野記念絵画館/長野)
　　「井上有一芸術展」(三尚当代芸術館/杭州)
2010　「井上有一遺墨展」(すみだリバーサイドホール/東京)、「字覚/井上有一作品展」(天津美術学院美術館)
2011　「井上有一芸術展」(北京皇城芸術館)
2013　シャルジャビエンナーレ(アラブ首長国連邦)出品
2016　「生誕百年記念 井上有一」(金沢21世紀美術館 松涛庵)
2018　「井上有一展」(パリ日本文化会館)